

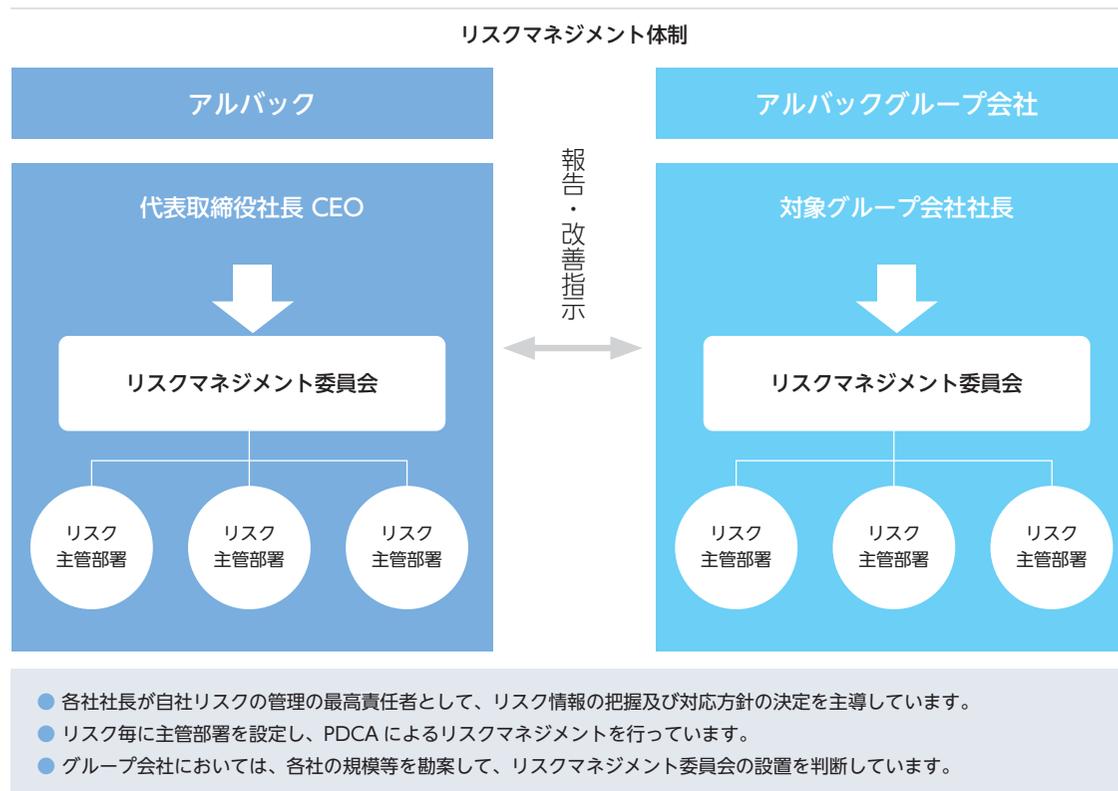
リスクマネジメント

複雑多様化するリスク要因に対して適切な対応をとることが、各種法令の要請の充足や内部統制体制の確立となり、ガバナンス体制の構築、ひいては中長期的企業価値の向上につながるものと考えています。そこで、各リスク要因に対し、識別・分類・分析・評価をすることで適切な対応ができる体制の拡充を図っており、それらを経営戦略に反映させることでより一層の企業価値向上に努めています。

リスクマネジメント体制

リスクマネジメント体制に関する諸規定を制定し、広範なリスクを多岐にわたる視点から大分類し、それぞれの分類されたリスク毎に主管部署を設置しています。さらに、この主管部署がより具体的なリスクを洗い出し、対応をすることとしています。このリスクマネジメント体制の運用においては、特に、重要な情報が効率よく主管部署に集約されるように努めています。加えて全社的にこのリスクマネジメント体制の運用についての情報の共有化と検証を図るため、社長を委員長とし、各主管部署を中心として構成さ

れるリスクマネジメント委員会を設置しています。このリスクマネジメント委員会は、リスクマネジメント統括組織として1年に2回以上開催され、全社的な基本方針決定や管理運営状況の把握と改善等の検討を行っています。また、アルバックにおける係る取り組みは、アルバックグループ会社においても、その規模や業態に応じた形で導入しています。



リスクマネジメント

リスクに対する取り組み

財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性がある主要なリスクを以下のように定め、経営会議等の意思決定機関における議論を通じてこれらのリスクを低減し、機会として活かすための対応を検討しています。

認識している事業等におけるリスク

- | | | | | |
|--------------|------------|------------|----------|-----------------|
| ① 市場変動 | ④ 人財の確保 | ⑦ 品質 | ⑩ 外国為替変動 | ⑬ 環境規制、気候変動への対応 |
| ② 研究開発 | ⑤ サプライチェーン | ⑧ 資金調達 | ⑪ 知的財産権 | ⑭ その他 |
| ③ グローバルな競争環境 | ⑥ 法令・規制 | ⑨ 情報セキュリティ | ⑫ 安全 | |

市場変動

アルバックグループは、特に半導体及び電子部品、FPD等の製造工程で使用される真空装置分野において独自技術を開発し、市場シェアを拡大してきました。しかしながら、半導体や電子部品、FPD分野等における市況変動に伴う顧客の設備投資の大幅縮小や財政状態の悪化が生じた場合、アルバックグループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

さらに、アルバックは新中長期経営計画「バリューアッププラン」に基づき、事業ポートフォリオを半導体電子分野へ集中させる方針を掲げておりますが、半導体市場は技術革新のスピードが速く、また地政学的リスクや景気変動の影響を受けやすい特性があります。今後、半導体需要の急激な変動や競争環境の変化がアルバックグループの経営成績や財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

アルバックグループは、半導体電子分野への集中と並行して、真空関連事業を幅広く展開しております。また、半導体電子分野の急激な市場環境の変動に対しては、技術革新への対応力を高めるための研究開発投資を行い、製品ラインアップの拡充と差別化を図っていきます。加えて、事業間シナジーを活用した新規ビジネスの創出により、収益基盤の多様化を推進し、市場環境の変動に対する耐性の強化に努めてまいります。

研究開発

アルバックグループは、積極的な研究開発投資を継続して行うことにより、最先端技術を使用した新製品を市場に投入し続けてまいりました。しかしながら、開発の著しい遅延を余儀なくされ、新製品の市場への投入に遅れが生じた場合、アルバックグループの経営成績や財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

成長のために必要な開発について、投資の選択と集中によりスピードアップを図るとともに、定期的なモニタリングを実施して著しい遅延が生じないように、その進捗を管理しております。

グローバルな競争環境

アルバックグループは、海外売上高比率が高く、世界各国・各地域の顧客に向けて製品を提供しております。しかし、グローバルに事業を展開している既存の競合他社も数多く、新規参入も増えている中で、製品の性能のみならず価格面での競争も激化しております。このような競争環境により、アルバックグループの経営成績や財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

アルバックグループは、顧客ニーズを的確に把握し、それを確実に反映した製品を適時投入することで、競争力を維持し、競争環境に対応してまいります。

人財の確保

アルバックグループがグローバルな事業環境の中で成長を続けるために、人財の確保は最も重要なことと位置付けております。事業の成長に必要な人財を確保し続けることができない場合、競争力の低下を招くこととなり、アルバックグループの経営成績や財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

アルバックグループは、人材を「人財」として捉え、多様な人財が挑戦し続ける場の創出に努めております。人財の採用・育成を推進し、多様な人財が心身ともに健康で活気に満ち、個人の能力が最大限に発揮できるように、従業員のエンゲージメントとウェルビーイングを意識した活動で働く環境を整え、必要な人財を確保しております。

情報セキュリティ

アルバックグループは、事業上取り扱う個人情報や取引先情報などの重要な情報資産を保有しています。これらの保護を経営上の重要課題と位置付け、情報セキュリティ管理の強化に取り組んでいます。

サイバー攻撃や内部不正などの脅威を監視し、データを安心・安全に活用できる環境を確保するとともに、脆弱性分析と対策を講じています。万が一インシデントが発生した際は速やかに情報を共有し、迅速に対応できる体制を整備しています。また、全従業員が情報セキュリティに対する責任を理解し適切に行動できるよう、定期的な情報セキュリティ教育を実施しています。